



世界の社会科学・行動科学・人文科学の英知を結集 - **WSSF2018** - プレナリースピーカー

## ***Security and Equality for Sustainable Futures***

持続可能な未来の  
ための生存・安全  
の確保と平等

### **WORLD SOCIAL SCIENCE FORUM 2018**

世界社会科学フォーラム  
2018年9月25日～28日  
福岡国際会議場

#### **WSSF 2018 サブテーマ**

1. 持続可能性と生存・安全
2. サイバーセキュリティ、サイバー攻撃、ハイブリッド戦争
3. 人間の安心・安全
4. 生存基盤の確保と国連採択課題:持続可能な開発のための2030アジェンダ
5. グローバリゼーション、多様性と文化的帰属
6. 都市と地方を包摂する開発
7. 男女平等と人間の安全保障
8. 健康、安全とバイオセキュリティ
9. 自由、民主主義と安全確保



Craig Calhoun  
社会学者/前・ロンドン大学  
オブ・エコノミクス・アンド・  
ポリティカル・サイエンス  
(LSE) 学部長、教授



Sir Partha Dasgupta  
経済学者/ケンブリッジ大学  
フランク・ラムゼイ・経済学  
名誉教授/福祉経済学と  
環境経済学の先駆的研究者



Andrew Feinstein  
南アフリカ非政府組織  
Corruption Watch  
事務局長・調査報道ジャーナリスト・運動家



Barbara M. Fraumeni  
経済学者/前・米国商務省  
経済分析局チーフエコノミスト/  
『2018年国連・包括的  
の豊かさの報告書』執筆者



Urs Gasser  
法学者/ハーバード大学  
法学部教授・ハーバード大  
Berkman Klein Center  
for Internet & Society  
責任者



Jiro Kokuryo  
慶應義塾大学常任理事/  
科学技術振興機構 プログ  
ラム 責任者  
/ 内閣IT戦略本部メンバー  
責任者



Martin Rees  
宇宙学者・天体物理学者/  
ケンブリッジ大学名誉教授/  
前・英国王立協会(英國科  
学アカデミー) 会長



Hassan Wirajuda  
元・インドネシア外務大臣/  
インドネシア・公共政策大学  
教授/『選挙・民主主義お  
よび安全保障に関する世  
界委員会』委員

#### ◆◆◆ 世界社会科学フォーラム (WSSF)とは ◆◆◆

世界の主要な社会科学系国際学術団体60を束ねるISSC (国際社会科学評議会) が3年に一度開催する学際的、超学際的世界会議で、社会科学系世界大会としては最大規模。人類が直面する課題に多角的に迫り、解決を目指して社会学、法学、経済学、地理学、文化人類学、政治学等の分野の力を結集して討論を展開、未来社会を構想する。第4回目を数える今回はアジア初開催。日本の国際的リーダーシップが問われる。

#### ◆◆◆ ISSCとは ◆◆◆

WSSFの開催母体。ユネスコの議決により1952年に設立された国際学会連合。多くの国際大型研究プロジェクトを支援、また若手研究者養成を精力的に遂行。自然科学分野の学術団体を束ねるICSU (国際科学会議) とは文・理の点で対応し、国際研究プロジェクト、フューチャー・アース等を共同主導。ISSCとICSUは本年7月に合併し"世界の学術会議" (ISC) が誕生する。WSSF2018は新組織設立後の初の国際学会としても注目を集めている。

- 発表論文投稿受付中!
- 参加登録 2018年3月1日より

主催:九州大学・日本学術会議

共催:科学技術振興機構・WSSF2018コンソーシアム

参加者:1000名予定

使用言語:英語

大会ウェブサイト:<http://www.wssf2018.org/>

お問合せ:WSSF事務局

wssf2018.jimu.kyushu-u.ac.jp/ 092-642-2257

#### WSSF2018コンソーシアム

早稲田大学 /La Trobe大学 /総合地球環境学研究所/ 京都大学東南アジア地域研究研究所  
一橋大学/ アジア開発銀行研究所/ 日本大学/ 東京大学

# Security and Equality for Sustainable Futures

持続可能な未来のための生存・安全の確保と平等

WORLD SOCIAL SCIENCE FORUM 2018  
世界社会科学フォーラム

2018年9月25日～28日  
福岡国際会議場



世界の社会科学・行動科学・人文科学の英知を結集 - WSSF2018 - プレナリースピーカー

## Craig Calhoun クレイグ・カルホーン

社会学者/ Berggruen Institute (米国) 所長

- 前・ロンドン大学ロンドンスクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンス (LSE) 学部長、現・同学社会科学センテニアル教授。
- 著作は20か国に翻訳されており、その中で、コスマポリタニズムに対抗する、不平等な世界経済に根ざした民族主義と民衆主義の興隆を予見した。近著の主なテーマは経済危機と未来、世俗主義と宗教。

## Andrew Feinstein アンドリュー・ファインスタイル

南アフリカ非政府組織Corruption Watch事務局長・調査報道ジャーナリスト・運動家

- ネルソン・マンデラ大統領時代の1997年に与党アフリカ民族会議より国政に参加するも、巨額な武器取引への捜査に対する政府の拒否姿勢に抗議し2001年に議員を辞職。
- 武装暴力の縮減を求める活動により、2013年には米国雑誌TIMEが『世界で最も影響力のある100人』の一人と称した。

## Urs Gasser ウルス・ガセール

ハーバード大学法学部教授・ハーバード大学Berkman Klein Center for Internet & Societyの責任者

- 2012年に始まった国際共同イニシアティブ "Global Network of Internet & Society Centers" は彼が構組みの考案を支援した。(目的:インターネットに関する開発、社会的影響、政策的影響、法的問題の地球規模での学際研究)
- 関連プロジェクトでは、現在、プライバシーとセキュリティの問題に加え、クラウドコンピューティング、拡張現実 (Augmented Reality: AR) やAI(人口知能)のような新興技術のガバナンスに焦点を当てている。

## Martin Rees マーティン・リース

宇宙学者・天体物理学者/ケンブリッジ大学名誉教授

- 前・英国王立協会 (英国科学アカデミー) 会長。
- 英国王室より Astronomer Royal (王室天文官) に任命される。(1995年～現在)
- 教育、宇宙研究、武器管理、科学における国際協力など、各國際機関への貢献は高く評価され、数多くの受賞歴を誇る。近著『Our Final Century?』のテーマは、人類が及ぼしている地球環境への史上最大の影響への脅威と、凄まじく進化する科学技術の顛末。

## Sir Partha Dasgupta サー・パーサ・ダスグプタ

経済学者/ケンブリッジ大学名誉教授

- 福祉経済学と環境経済学における世界第一人者。
- その先駆的研究の功績により英国王室より「Sir」の称号を(2002年)、またケンブリッジ大学より「フランク・ラムゼイ教授—経済学」の称号を授与される。
- 『2018年国連・包括的豊かさの報告書』(UN-Inclusive Wealth Report (IWR) 2018) の刊行顧問。

## Barbara M. Fraumeni バーバラ・フラウメニ

経済学者 / 全米経済研究所 (NBER) 所属

- 前・米国商務省経済分析局チーフエコノミスト---研究開発を投資として扱い、その経済成長への貢献を評価するよう国民経済計算を修正するチームの中心的役割を果たし、その功績により米国商務省が最高の栄誉賞(金賞)を授与。
- 『2018年国連・包括的豊かさの報告書』(UN-Inclusive Wealth Report (IWR) 2018) の執筆者。

## Jiro Kokuryo 國領二郎

慶應義塾大学常任理事・科学技術振興機構(JST)の公募型研究開発プログラム:「人と情報のエコシステム(Human-Information Technology Ecosystem(HITE))」のアドバイザー

- HITEの目的:ビッグデータを活用した人工知能、IoT、ロボットなどの情報技術を、人間を中心とした視点で捉えなおすことそして一般社会への理解を深めながら、技術や制度を協調的に設計していくこと。
- 内閣IT戦略本部メンバー ---日本のインターネット政策と戦略の開発における第一人者。

## Hassan Wirajuda ハッサン・ウィラユダ

元・インドネシア外務大臣 (2001年～2009年)・インドネシア公共政策大学教授

- 外相時代はASEANの政治・安全保障共同体 (ASEAN共同体の3つの柱のひとつ) の中心的人物であり、包括的かつバランスの取れた東アジアの統合プロセスを積極的に推進。
- インドネシア人権委員会の設立に尽力。
- 『選挙、民主主義および安全保障に関わる世界委員会』委員。

(WSSFプレナリースピーカー:2018年1月31日現在)

## ◆◆◆ WSSF 2018 NEWS ◆◆◆

WSSF Fukuoka Student Award 学生の優秀論文執筆者にはAwardが授与されます。

※詳しくは Call for Papers をご参照 : <http://www.wssf2018.org/student-award.html>